

茅野市 八ヶ岳通信

■茅野市美術館

平成17年10月 茅野市美術館 移転オープン！ ～ 変幻自在のアート空間 茅野駅前に現る ～



第47回茅野市美術展（平成17年11月6日～11月13日）の会場風景



美術館サポーター養成講座では、毎回様々な意見が飛び交います

平成17（2005）年10月1日、茅野市美術館は新設の文化複合施設「茅野市民館」の中に移転開館いたしました。

移転開館から約半年を経た現在、当美術館は地域文化の発信拠点として、人々の交流拠点として、新たな一歩を踏み出し始めています。

新美術館の大きな特徴は、ホール機能やコミュニティ機能を備えた文化複合施設内にあるということです。これにより、併設するホールや図書室などとコラボレーションを図りながら、より大きな視野でアートをとらえることが可能になりました。

また、JR茅野駅に隣接しているという立地条件も新美術館の活動に大きな影響を与えています。通勤、通学の途中に立ち寄り方や、駅を利用した際に市民館・美術館を発見

する方など、通りがかりの来館者が増えました。

アートは世間から切り離された難しい“ゲイジユツ”ではなく、本来は極めて身近な存在であり、私たちの日常生活や人生に寄り添うものでもあります。駅に隣接するこの館では、そうしたアートの持ち味をじっくりと体感することができるでしょう。

郷土美術館としての基本理念をふまえた常設展、複合館の特徴を活かした企画展、そして市民ギャラリーの運営。事業推進には美術館サポーターの存在も欠かせません。それぞれの活動の充実を図りながら、茅野市美術館は今後も彩り豊かなアートシーンを創り出していきます。

八ヶ岳麓文芸館 企画展

矢崎虎夫・原天明

—水墨画と俳句がおりなす世界—

現在、八ヶ岳麓文芸館（総合博物館内）では、平成 18（2006）年 1 月 19 日（月）から平成 19（2007）年 1 月 20 日（土）まで企画展 矢崎虎夫・原天明—水墨画と俳句がおりなす世界—を開催しています。矢崎さんの水墨画と原さんの俳句を中核に据えた心象画の世界を掛軸や色紙などに描いています。



故矢崎虎夫さん

彫刻家の故矢崎虎夫さんは明治 37（1904）年、永明村（現茅野市）に生まれました。子供の頃から画家になりたいと願って、旧制諏訪中学校（現諏訪清陵高校）を卒業と同時に彫刻家平櫛田中に入門し、東京美術学校（現東京芸術大学）彫塑科を卒業しました。数々の賞を受賞し、フランスへ留学。その後水墨に親しみ彫刻作品とともに水墨画も残しています。

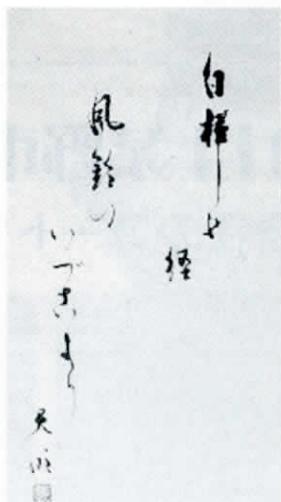


原天明さん

俳人の原天明（本名：充）さんは昭和 9（1934）年、玉川村（現茅野市）に生まれました。NHK 学園俳句講座講師など、指導者として諏訪平一円に俳句の裾野を広げる活動の中心的な存在として現在活躍中です。また知られざる一面として、日本棋院普及指導員として小学生や地域の人々を対象に後進の育成に尽力中です。

お二人の関係は、原さんが俳句を、矢崎さんが水墨画を互いに教えあっていたようです。さらに矢崎さんとの関係について原さんに尋ねますと、「俳句が取り持つ縁により年高は親子ほど違いますが、親子以上の親しみを込めたお付き合いをさせていただき、虎夫先生に私の俳句を添え楽しく合作して参りました。虎夫先生は水墨画には一つの信念を持って大胆に描かれております」と話されていました。

展示は、矢崎さんがフランス留学後に描いた水墨画や年ごとに描かれた十二支の掛軸、仏教説話をテーマとした迫力ある作品から優しい動物や植物、仏像。また水墨画と俳句の合作の掛軸や原さんのテラコッタの動物像など様々です。会期中には展示解説や講演会など、また部分的に 2 回ほど展示替えの予定もあります。彫刻家としての矢崎虎夫さんとは少し違った面が見える企画展となっています。ぜひご来館ください。



りんどう

原さんが先に俳句を、その後に矢崎さんが市の花であるりんどうを描いた合作。同じ墨を使っている。



矢崎虎夫氏

原天明



戌

矢崎虎夫

成年に描かれた作品。原さんが成年のため、王様の犬であるという事で王の字を入れ、さらに祝の字も入れたためたいもの。



からら
迦樓羅

矢崎虎夫

地上を飛んでいくようなイメージで描かれている。

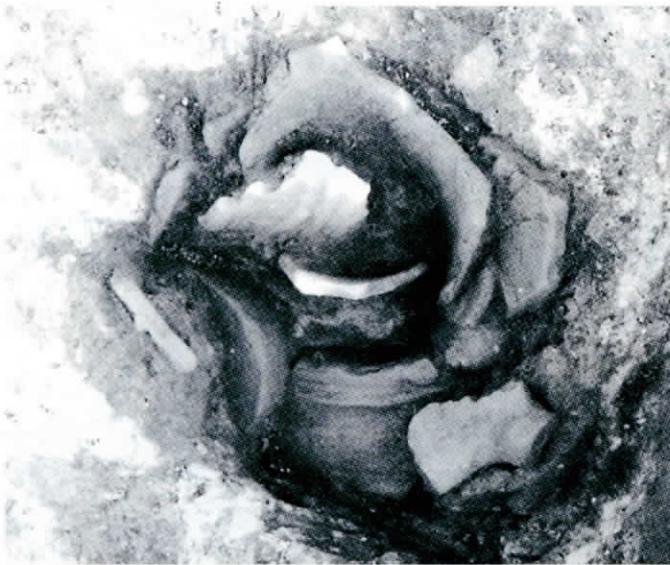
会期中のイベント

★展示解説 1日2回 午前10時～・午後2時～

①平成 18 年 1 月 22 日（日） ②平成 18 年 5 月 28 日（日） ③平成 18 年 10 月 15 日（日）

★講演会 平成 19 年 1 月 14 日（日） 講師 原天明さん

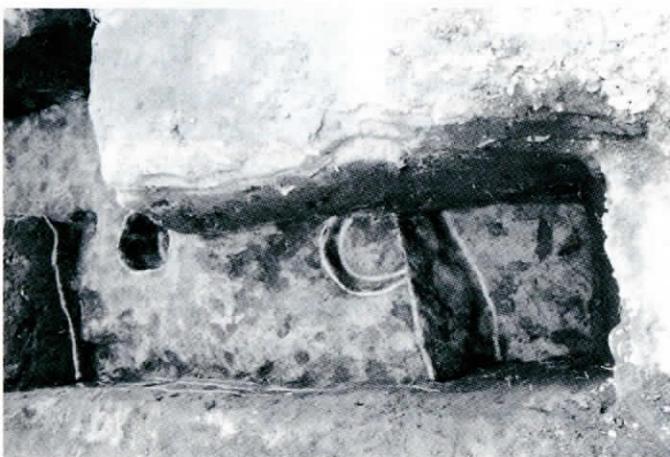
今年度の遺跡発掘調査から



上の平遺跡土器出土状態



中島遺跡掘立柱建物址



上原城下町遺跡古墳時代後期住居址の一部

平成 17 (2005) 年度の大規模なほ場整備事業に伴う発掘作業は主に整理、報告書刊行となりました。一方、集合住宅、工場のほかに建築基準法の改正に伴い、一般住宅で基礎工事の際に土壌改良を実施する事態が急増してきているため、一昨年度までは工事立ち合いで対応していた調査が昨年度同様、本年度も発掘による記録保存を執らざるを得ない状況が増えています。

昭和 30 年代までは少なかった発掘調査が 40 年代には全国的な大規模開発の影響で調査面積の増大、件数についても増加の一途をたどってきました。

現状保存できない埋蔵文化財についての記録はその遺跡に代わって国民の文化的資産として後世に残さなければならないものです。その上常に一定の質が確保されている必要があるとして平成 16 (2004) 年度に『行政目的で行う埋蔵文化財の調査についての標準』がまとめられ、茅野市においても今まで以上に遺跡から正しい歴史や文化を復元し、貴重な遺跡を将来にわたって保存、活用をはかるため、従来の大規模発掘だけでなく、同標準に基づいて周知の遺跡については住宅建築等の開発行為が遺跡内で行われる場合に遺跡の範囲や遺構、遺物の有無確認を目的に試掘調査を実施して、新築の個人住宅だけではなく小規模な建て替えや水道、下水道工事についても立ち合い調査等を行っています。

前年度 34 件であった小規模な調査も本年度は 40 件を越えました。本年度調査の中からいくつかを紹介します。

豊平御作田の上の平遺跡からは縄文時代中期初頭の住居址が見つかり、今回の調査により前期末葉から中期中葉の住居址が出揃い市内でも数少ない継続性のある縄文時代の集落遺跡であることが分かりました。

中島遺跡は玉川栗沢にあり、平面が亀甲形になる 8 基の柱穴が見つかりました。八ヶ岳の裾野では数少ない縄文時代後期か晩期の掘立柱建物址と思われます。

上原城の眼下に広がる上原城下町遺跡は中世の遺跡と捉えてきましたが今回古墳時代後期の住居址と平安時代の住居址が見つかりました。上原の高まり一帯に古代の集落址が濃く展開する可能性が高くなってきました。

それぞれの発掘調査は面積も少ない断片的な調査ですが今までの成果と組み合わせると以上のような成果が見えてきました。今後も埋蔵文化財に対し市民の皆さんの一層のご理解、ご協力をお願いします。

ゆうこうつばつきどき
長峯遺跡の有孔罌付土器

茅野市北山の長峯遺跡は、昭和34（1959）年の開田工事の際に遺物がわずかに収集されただけで、消滅したと考えられていました。その収集品の中に、今回紹介する有孔罌付土器があります。

この有孔罌付土器の用途には、種子保存具・酒造具・太鼓などの諸説があります。この土器は、その中でも特に有名で、日本各地での特別展だけでなく、平成10（1998）年にはフランスのパリで開催された日本を紹介する展覧会でも代表的な縄文土器の一つとして特に選ばれて出品されました。

長峯遺跡はすでに消滅した遺跡とされていましたが、平成11（1999）年、一帯が改めてほ場整備されることになり、長野県埋蔵文化財センターが調査したところ、多くの住居址をはじめとする遺構が残っており、遺物も多数出土しました。

その遺物の中に、50年も前に採集された有孔罌付土器に接合する破片がみつかりました。

現在、解体と修復作業を行っており、今春から、展示を再開する予定でいます。



■守矢史料館

元祖 野蛮ギャルド建築 ～ 藤森照信の世界 ～

守矢史料館は、平成17（2005）年で開館15周年を迎えました。15周年を記念として、平成17年10月15日（土）から11月23日（水）にかけて企画展「元祖 野蛮ギャルド建築～藤森照信の世界～」を開催しました。藤森照信氏は茅野市宮川高部の出身で、東京大学生産技術研究所の教授です。藤森氏の第一作目の作品が守矢史料館です。工業建築部材を自然素材で包み込むという、藤森建築のエッセンスが凝縮された作品です。



企画展では、藤森氏が守矢史料館と高過庵たかすぎあんを作成するにあたり、最初の構想から完成に至るまでのスケッチを展示しました。

この企画展にあわせて、10月15日と11月23日に平成16年完成した「高過庵」の見学会を行いました。高過庵は藤森氏が実家の畑に建てた建物です。見学会は現地で行い実際に高過庵に登って藤森氏から建物の説明などを聞き楽しいひとときを過ごしました。多くの方々に参加していただき、大盛況でした。（左／見学会の様 右／高過庵）



茅野市の博物館・文化財課だより **八ヶ岳通信 No.24** 発行年月日 平成18年3月31日

編集・発行	茅野市美術館	〒391-0005	茅野市仲町1-22	TEL (0266) 82-8222
	茅野市八ヶ岳総合博物館	〒391-0213	茅野市豊平6983番地	TEL (0266) 73-0300
	文化財課	〒391-8501	茅野市塚原2丁目6番1号	TEL (0266) 72-2101
	茅野市尖石縄文考古館	〒391-0213	茅野市豊平4734-132	TEL (0266) 76-2270
	茅野市神長官守矢史料館	〒391-0013	茅野市宮川389番地の1	TEL (0266) 73-7567